

平成23年度 国立磐梯青少年交流の家体験活動等普及啓発事業

# 青少年体験活動フォーラムin磐梯

～体験活動を通して、青少年の未来を考える～



【基調鼎談】「青少年期の体験から生まれる漫画の世界」  
「釣りバカ日誌」の北見 けんいち氏（漫画家）  
「愛しのポッチャー」の河口 仁氏（漫画家）  
「あららんけちよ」の寺島 敬治氏

【分科会（事例発表・協議）】

- 事例1 「あかぎ多文化共生推進プロジェクト」
- 事例2 「被災した子どもたちへの支援事業」
- 事例3 「タイニーキャンプ（小学校低学年対象事業）の普及」
- 事例4 「東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）への対応として、那須甲子青少年自然の家が避難者のために何ができただのか」

【ワークショップ】

- A 「自然観察におけるファシリテーションの手法」
- B 「森のようちえんが育む子どもの生きる力」
- C 「読書活動と体験活動を関連させた指導法」
- D 「火山のジオパークを100倍楽しむ方法 磐梯山を例に」
- E 「コミュニケーション作りのための体験活動」

期日：平成23年11月12日（土）～11月13日（日）  
会場：国立磐梯青少年交流の家

<申込み先・問い合わせ>

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立磐梯青少年交流の家  
〒969 - 3103 福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原 7136 - 1  
TEL：0242 - 62 - 2530 FAX：0242 - 62 - 2532  
E-mail：[bandai23kikaku@niye.go.jp](mailto:bandai23kikaku@niye.go.jp)  
担当：国立磐梯青少年交流の家 安齋 敦・望月 奏

- 【趣 旨】 青少年の体験活動の関係者が一堂に会し、青少年の課題に対応した体験活動の事例研究、ワークショップでの体験や情報交換を行い、青少年教育指導者の資質の向上を図る。
- 【主催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立磐梯青少年交流の家  
 【共催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家  
 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家  
 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立那須甲子青少年自然の家  
 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家
- 【後援】 福島県・山形県・宮城県・群馬県・千葉県・埼玉県・栃木県・茨城県・長野県・静岡県の各県教育委員会
- 【対象】 青少年教育行政担当者，青少年教育施設職員，学校教育行政職員，学校職員，青少年団体指導者，集団宿泊活動受入地域関係者，民間教育事業者，その他青少年の体験活動に関心のある者
- 【定員】 100名（定員になり次第，締め切らせていただきます。）
- 【講師・内容】

## 【基調鼎談】「青少年期の体験から生まれる漫画の世界」

北見 けんいち氏（漫画家）

河口 仁氏（漫画家）・寺島 敬治氏

「釣りバカ日誌」を代表作とする漫画家北見けんいち氏，赤塚不二夫プロダクションで一緒だった河口仁氏・寺島敬治氏をお迎えし，青少年の成長や学びに必要なことを御自身の貴重な体験をもとにお話ししていただきます。

### 【分科会（事例発表・協議）】

#### 事例1 「あかぎ多文化共生推進プロジェクト」

国立赤城青少年交流の家 企画指導専門職

教育関係諸機関との連携協力の下，ブラジル人学校に通学する外国人子女を対象に，日本語習得及び日本社会の文化・習慣の理解促進をねらいとして実施した事業の発表です。集団宿泊学習や自然体験活動等を通して，日本人との交流や野外での体験活動が希薄であるという実態を把握でき，今後はその課題を改善するためのプログラムを検討・実践していくことになります。

#### 事例2 「被災した子どもたちへの支援事業」

国立中央青少年交流の家 企画指導専門職

東日本大震災で被災した子どもたちと，それ以外の地域の子もたちが寝食を共にした共同生活を送りながら交流し，共に日本一の富士登山に挑戦した事業の発表です。この事業を通して，被災地の子どもたちは，傷ついた心を癒すとともに楽しい思い出ができ，それ以外の子どもたちは，震災の大変さをより現実的に感じ，同世代の仲間の姿を見て自分も頑張るという気持ちをもつことができた事業です。

#### 事例3 「タイニーキャンプ（小学校低学年対象事業）の普及」

国立信州高遠青少年交流の家 企画指導専門職

国立信州高遠青少年自然の家が3年間にわたり実施してきたタイニーキャンプ（小学校低学年対象事業）の実績と成果，ノウハウを広く近隣の公立施設に普及してきました。

そこで，そのプロセスや関わり方，また公立施設における事業の様子についての発表です。

#### 事例4 「東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）への対応として，那須甲子青少年自然の家が避難者のために何ができたのか」

国立那須甲子青少年交流の家 企画指導専門職

3月11日に起きた東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）。誰もが予想だにできなかった災害に，那須甲子青少年自然の家として避難者のために何ができたのだろうか。避難所として運営していくために，試行錯誤を繰り返しながら，避難者対応のプログラムを年齢や状況に応じて企画したり，避難者の自治組織を立ち上げるための支援をしたりと，那須甲子青少年自然の家としてのソフト面，ハード面を活かしながら取り組んできました。その取り組みの中で学んだことや今後の施設としての課題などを5か月の記録事例の発表です。

【ワークショップ】

- A 「自然観察におけるファシリテーションの手法」** 福島県自然保護協会事務局長  
 自然観察は、自然保護教育の一環として行うものであり、五感を使って自然を体験させ、人と自然とのかわりや自然のしぐみに気づかせ、自然を大切に思う気持ちを育む活動です。自然観察の参加者の能力、やる気、主体性を引き出す指導方法や実際に行う際の留意点などが学べます。
- B 「森のようちえんが育む子どもの生きる力」** NPO法人こどもの森ネットワーク理事長  
 ドイツで視察してきた「森のようちえん」の福島での実践例を中心に、指導法や子どもの変化について学べます。後半では、幼児といっしょに森に出かけ、子どもを自由に安全に遊ばせます。幼児向けの森遊びでのアクティビィの紹介もあります。今後、自分たちで「森のようちえん」を実践するためのヒントが学べます。
- C 「読書活動と体験活動を関連させた指導法」** 国立磐梯青少年交流の家企画指導専門職  
 近年、青少年の読解力や思考力の低下が問題視されています。地域の民話を聞き、その舞台を訪ね、さらにその体験活動をもとにした絵本作りの実践の紹介と実際に絵本作りの体験もできます。読書活動と体験活動を関連させた活動は、読書活動の普及のみならず、読解力や思考力を高める意味でも教育効果が期待できるものです。
- D 「火山のジオパークを100倍楽しむ方法 磐梯山を例に -」** 磐梯山噴火記念館副館長  
 子どもたちが学校で学ぶ火山は、知識の習得に追われ、そのダイナミズムを感じとることは難しいと思われまます。そこで、楽しい実験と映像と実物を使い、火山が大好きな子どもに変身させる方法を学べます。このワークショップで学び、磐梯山のフィールドへ向かえば、今日からジオツーリストになれます。
- E 「コミュニケーション作りのための体験活動」** 日本体験学習研究所（JIEL）研究員  
 青少年の抱える課題として、コミュニケーション能力や社会規範意識などの低下が挙げられます。そこで、コミュニケーション能力の育成を目指した「体験学習の手法」を学ぶことにより、よりよい人間関係を構築するためのファシリテーターとしてのスキルアップにつながります。

【主な日程】

11月12日（土）

12:30	13:00	13:30	15:20	17:00	18:30	20:00	23:00
受付開始	開会式	基調鼎談	分科会	分科会事例発表	夕食・情報交換会	入浴等	就寝

11月13日（日）

6:15	7:00	7:30	9:00	12:10	12:30
起床洗面	朝のつどい	朝食・清掃等	ワークショップ	閉会式	解散

【申込み期間】 平成23年9月20日（火）～10月30日（日）必着となります。

定員になり次第締め切らせていただきます。

受講内定者の二次案内通知につきましては、申込期間終了後、郵送にてお知らせします。

【参加費】 2,500円【内訳】食事代、シーツ洗濯代、保険代

12日（土）に夕食を兼ねた情報交換会を行います。

参加費は、当日受付で徴収しますので、お釣りがないよう御準備ください。

<保険内容> 保険種類: 傷害保険	
死亡・後遺障害	286.8万円
入院保険金	4,000円
通院保険金	1,500円
賠償責任	1000万円

【持ち物】 参加同意書・健康調査書・筆記用具・上履き・洗面具（石鹸・シャンプー）・寝間着・健康保険証・その他各自宿泊に必要なもの

【交通】 詳しくは、二次案内通知にてお知らせします。

電車利用の場合

JR東日本磐越西線 猪苗代駅下車

猪苗代駅への送迎希望の場合は申込書に御記入ください。

自家用車利用の場合

磐越自動車道「猪苗代高原IC」で降り国道115号を福島方面に向かい、県道7号線を左折し会津若松方面へ約2km、「交流の家」案内看板が目印です

【申し込み方法・お問合せ先】

下記の参加申込書に必要事項を御記入の上，下記の宛先までFAXまたは郵送，E-mailにてお申込みください。  
 FAXでお申し込みの場合は，電話で着信の御確認をお願いいたします。  
 E-mailでお申し込みの場合は，件名に必ず「青少年体験活動フォーラム in 磐梯」と明記してください。

..... 切り取り .....

国立磐梯青少年交流の家

このまま FAX  
してください。

FAX 番号  
0242 -62 -2532

平成 2 3 年度 国立磐梯青少年交流の家体験活動等普及啓発事業

「青少年体験活動フォーラム in 磐梯」参加申込書

申込日：平成 2 3 年 月 日

ふりがな			性別	年齢
氏名			男・女	歳
住所	〒			
電話番号	(自宅)		(携帯)	
FAX 番号			E-mail アドレス	
活動団体名又は所属名				
分科会について，参加希望の分科会番号を御記入ください。				
第 1 希望			第 2 希望	
ワークショップについて，参加希望のアルファベット番号を御記入ください。				
第 1 希望			第 2 希望	
事業前後の昼食について，空欄に をつけてください。(別途 5 5 0 円)				
11 月 12 日の昼食希望				11 月 13 日の昼食希望
交流の家と猪苗代駅間の送迎希望の場合は をつけてください。				
猪苗代駅 12 時 25 分着希望				猪苗代駅 13 時 37 分発希望
特記事項：食物アレルギーなど参加するにあたり特記することがありましたら御記入ください。				
どの施設からの御案内で申し込まれたか， をつけてください。				
磐梯青少年交流の家		赤城青少年交流の家		中央青少年交流の家
那須甲子青少年自然の家		信州高遠青少年自然の家		

【個人情報の取扱いについて】

本事業の参加申込手続きにおきまして申込者から提出された個人情報を事業の事務手続き及び広報調査に関する統計並びに事業内容の発送に付随する運營業務のために利用します。その取扱いについては細心の注意を払い厳重に管理します。予め申込者の同意がある場合及び法令等に基づき要請された場合を除き第三者に提供または開示いたしません。